

広報あつぎ1400号(6月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q あなたの年代を選択してください。

10代	0人
20代	3人
30代	9人
40代	11人
50代	21人
60代	13人
70代以上	17人
	74人

広報あつぎ1400号(6月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 紙面で紹介した行政情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面 それでも、牛と

- 楽しい内容でした。
- 表紙の写真の牛がとてもかわいかった。
- 厚木市でも酪農が行われていることを初めて知ったから。
- 酪農がこんなに身近にあったのかという印象を持ちました。
- 乳製品をもっとたくさん飲んだり、料理に使おうと思います。
- 朝市で乳製品が購入できるとのことなので、是非行こうと思った。
- 酪農家は30年前とだいぶ変わってしまったんだなと思いました。大切にしたいです。
- 厚木市は、今号の特集にもあったように養豚が盛んなことは知っていましたが、酪農家も複数いることは初めて知りました。
- 市内では、8軒の酪農家が生乳を出荷していることを知りました。機会があれば8軒の飲み比べをしてみたいと思いました。
- 数年前まで近くで酪農をしていたところが気付くと牛もおらず廃業しているなか、頑張っている姿を見ると応援したくなった。
- 牛舎はあるが、牛がいなくなって閉鎖した牛舎をいくつか見掛けた。残念だと思ったが、今、8軒も酪農家がいらっしゃるということで、応援している。
- 酪農家の苦労はメディアでも報じられていて知っていたが、厚木市でも困っている酪農家さんがいると知った。なんとか助けになりたいと思う。朝市のイベントに行ってみたいと思う。
- 6月は牛乳月間ということを知りませんでした。記事から飼料が以前の2倍になりご苦労されている様子が伝わってきました。牛乳は大好きなので毎日欠かさず飲んでいきます。応援しています。
- 自分の子どもたちが、身近に動物を見たいと言って牛などの動物がいる場所を探しに行ったことはある。本当に生き物を飼うことは大変だと思うので、もっと酪農家の方の利益が上がる方法があれば良いのと思う。
- 「苦しくても、牛は生き物だから、世話をやめるわけにはいかない。」という言葉が印象的でした。私自身は牛乳が大好きで毎日飲んでいきます。酪農家の方々が苦しんでいるところに行政の手が入らなければならないと思います。
- 我が家の食卓に乳製品は欠かせません。牛乳が余って廃棄される際はいつもより多めに購入したりしています。農家さんが牛も生き物だから世話をやめるわけにはいかないという切実な内情の中で日々努力してくださっていることに胸を痛めましたが、明日からは少し多めに心を掛けていきます。農家さん、頑張ってください。
- 近所に酪農家があり、子どもたちが幼い頃牛乳を買いに行った。たまに会社の同僚家族を呼び一緒に牛乳を買いに行くととても喜ばれた。そのような交流を通じて酪農家の苦労を知ることがあった。生き物との生活は日々緊張を強いられることや家族全員での旅行は行けないこと、酪農家の献身によって我々の食生活が成り立っていることを痛感する。
- 牛舎を見掛けることが少なくなったと思います。地産地消の魅力はありますが、小規模酪農が多いようで、市販牛乳価格も高めのように思います。また、経営は大変だろうと推察しますが、周辺居住地への臭い等の環境問題もあると思います。このままでは衰退は避けられないと思います。経営を続ける酪農家同士の連携や共同化などの推進が必要だと思います。

2面 医療費が18歳まで無料に

- 子育て世代には助かると思う。
- 少子化対策の一つとして当然のことです。
- 子育て世代なので、とても有り難いです。
- 子どもがいるので、大変助かると思います。
- 医療費が18歳まで無料になるのは非常に助かります。
- 子どもが中学3年生なので、申請などが必要なのが気になった。
- 物価が上昇しているなか、18歳まで医療費が無料になるのは有り難い。
- 4歳の子どもがいるので、18歳まで医療費が無料になるのはすごく有り難いと思いました。
- 子育て世帯として大変関心のあるテーマでした。この施策の背景を含めて理解を深めることができました。大変参考になりました。
- 他の自治体が厚木市に追従し、中学生までの医療費を無料にするなか、厚木市が18歳まで無償年齢を引き上げたことは非常に素晴らしいことだと思います。
- 子どものいる世代を流入させたいのは分かるが、若い世代ばかり優遇されているように感じる。市内の高齢者の割合は高いはずなので、もっと高齢者も生きやすい制度を設けてもらいたい。
- 18歳まで医療費が無料になることはすごいと思います。私自身、大学生活を厚木市で過ごしましたが、学生の一人暮らしで医療費に困りました。18歳までだと少し楽になるので助かると思います。
- 18歳まで医療費が無料になるのは良いですが、その財源はどこからでしょうか。現役世代の医療費負担が増えたり、市の借金が増えることはないでしょうか。財源のことも記載されていると、18歳まで医療費無料に対する有り難さを実感することになると思います。
- 厚木市は子育て支援で医療費などが無料のため、子育て世代が他の市町村から転居してきます。しかし、子どもが巣立って住民税を納めるようになると、厚木市は不便だからと言ってもっと利便性の良い市町村へ転居していきます。医療費が無料だから魅力があって住みたいわけではないです。

2面 新型コロナウイルスワクチン接種情報

- ワクチン接種を希望しているから。
- 5回目をどうしようか考えているため。
- 厚木市内のコロナウイルス感染状況は依然高そうです。皆で気を付けたいと思います。

3面 厚木市議会議員選挙

- 選挙の時期なので気になって読みました。
- 厚木市の代表を選ぶ選挙なので気になります。
- 今後の市政に影響する選挙なので、しっかりと政策を提示してほしいです。
- 何回選挙をやるのかと思った。一度に行った方が良いと思う。市議会議員の任期が数か月短くなっても市民は困らないと思った。

4・5面 厚木の農産物を食卓に

- 食料自給率をとっても心配しています。
- 地場農産物について地産地消を応援しています。
- 厚木の農産物を積極的に使っている飲食店を取り上げてください。
- 地元農家を応援しているので、食材を買うときに厚木産を買っている。

- よく行くスーパーマーケットにも卸してもらえると地産地消ができると思った。
- 厚木で採れた新鮮な野菜、果物、また美味しい豚肉等をたくさん食べたいと思います。
- 厚木の農産物の宣伝は良いですが、他と比較できる農産物や特徴がよく分かりませんでした。
- 自然に恵まれた厚木の農産物を地産地消することは、市民の健康維持と地域産業、経済を活性化する上で大事なことです。
- 厚木産の豚肉は好きでよく食べるのですが、可愛い豚を見て、大事に育てた命をいただいているのだと改めて実感しました。感謝して食べようと思います。
- 厚木の農作物はどれも魅力的で度々購入させていただいています。もっと全国的に有名になれば良いないつも思っています。これからも応援しています。
- 臼井農産の苦労を初めて知りました。5,000頭の豚を育て、月に約700頭の子豚が生まれ、半年間で120キロまで健康に育てて出荷するのは、とても大変な仕事です。
- 食料自給率が40%前後の危機的状況から脱出するために農業の振興が必要だと思います。また、地産地消のサプライチェーンの増強も必要です。何より消費者と生産者が仲良くなることが最も重要で、農業イベントなど楽しい企画も良いかもしれません。
- 農産物を育て、販売することの難しさが伝わる記事です。特に、消費者が毎日のように口に作る農産、畜産物への考え方は厳しくなっています。消費者である私たちも地産地消を心掛け、地元の農業を支えていくことが大切だと思います。農家や生産者を支援する対策を更に進めていってほしい。
- 厚木の豚はホルモンに始まり、豚漬もおいしく自慢の食材だと思います。規模が縮小してきているという記事を読んで残念な気持ちになったとともに、市でこういう産業の支援をもっと勧めてほしいと思いました。厚木市ならではの食材をもっと市内外に広げてほしいです。地産地消と地域との繋がりも意識して活動されている臼井さんの活躍を期待しています。

5面 「厚木のとん漬」が100年フードに認定

- 大好きなとん漬が100年フードに認定されて、とてもうれしく光栄な気持ちになりました。
- とん漬は昔からずっと大好きだったので、100年フードに選ばれたことが本当にうれしく思いました。おめでとうございます。
- 厚木のとん漬は引っ越して来たときから気になっていましたが、それだけ長い間厚木市にあったことに驚き、食べてみたいという気持ちがより強くなりました。
- とん漬は昔からよく食卓に出ていて、ホルモンより馴染みがあるのに市外の人には浸透してない気がしていました。味噌漬けと間違えて記憶している人もいて、まずは名前が浸透してほしいなと思います。沖縄そばみたいに名前を聞いて地域が連想できるような知名度が付けば良いと思います。

5面 厚木市民朝市夕焼け市

- 新鮮な農産物を地元で手に入れられて安心です。
- 夕焼け市に行ってみたくと思った。子どもがいると朝市は忙しくてなかなか行けないので、夕方の時間にもあるのは良いと思った。

6面 あつピ！

- 緑のまつりが復活して良かったです。

6面 カーボンニュートラル

- 大事な取組だと感心しました。

7面 タウンガイド

- イベント情報が載っているので興味があります。

8面 6月は環境月間

- 改めて自覚を持った行動をしたいと思う。
- 環境月間のことについて、少し分かりました。
- 改めて環境を考慮した行動をしなければならないと思った。
- 家庭では食品ロスを削減することが一番身近でできることだと思います。食べ残しはしない、食材は工夫して使い切ることが大切だと思うので、日々実践しています。また、常にマイバッグを持ち、プラスチックゴミが出ないようにもしています。

8面 自然歳時記

- 毎号、自然歳時記を楽しみにしているため。

興味を持てる記事がなかった

5人

広報あつぎ1400号(6月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 今回の「広報あつぎ」について、意見・感想、その他、取り上げてほしい内容があればお聴せください。

- 役立つ情報が多かった。
- 全体的にカラフルで良い。
- 次号も期待しています。
- とても楽しめる内容でした。
- いつも楽しみにしています。
- 今回は、全て興味深い内容でした。
- 身近な情報をいつもありがとうございます。
- 今回も有益な情報が満載で読み応えがありました。
- 様々な世代に合った情報提供を今後も期待します。
- 全体的に明るい話題を提供していただいていると思います。
- 「広報あつぎ」を見ていると、厚木市は楽天的な街のように見えるが、実態はまったく違うと思う。
- カラーページが多くて楽しいです。毎回、届くのが楽しみです。また、「あつぎ愛テレビ」と連動した掲載が良いです。
- 牛や豚や農業など、食に関する記事で興味を持つ内容が多かった。
- 厚木の特産品の良さも伝わりやすかったり、医療費無料などの情報も知ることができて良かったです。
- 全体的に地産地消を推進するような印象だったので、これからも厚木産のおいしい恵みで食卓を彩りたいと思いました。
- 厚木の牛乳も、積極的に飲もうと思いました。
- 市長が変わって厚木市がどう変わったかについて取り上げてほしい。
- 1面の牛乳の話は実際に買いたいと思ったが、どこで買えるのかが分からないから困る。
- 6月は牛乳月間ということを含めて今まで知らなかったです。この年齢になっても広報紙に教えてもらうことが多数あります。ありがとうございます。
- 酪農の記事はとても良かったです。こんなに身近に牛を飼っている酪農家がいると思いませんでした。厚木の牛乳として、あゆコロちゃんパッケージで売るのが良いと思いました。
- 1面の「それでも、牛と」に関連して、最近牛乳の消費量が少なく廃棄しなければならないニュースが流れていたが、とても悲しいことである。酪農家が丹精込めて乳牛を育て、生産した牛乳を一市民としても消費量が増えるように努力したい。
- 医療費について分かりやすかった。
- 医療費無料についての記事が良かったです。
- 医療費助成の拡大には賛成で、子育てにやさしい街づくりが進むと思います。
- 18歳までの医療費無料は、子どもを持つ親にとって有り難いことですが、所得制限などは本当になくて良いのでしょうか。
- 厚木市議会議員選挙の投票率向上に関する、対策等も紹介されると良いと思います。
- 厚木の農産物を食べることで応援したいと思った。
- 4・5面の記事に関連して、市内農産物をなるべく購入しています。
- 色々なものが値上がりしてるので、厚木市として地産地消の方が安いものがあれば教えてほしい。

- 農協や朝市、夕焼け市などはあまり利用していないので、地元のスーパーにも販売してもらえるように農業政策課の方で働きかけてもらいたい。
- 4・5面の特集で、地元食材の状況を改めて知ることができました。地産地消を通して、厚木の農業を始めとした地場産業を応援したくなりました。
- 臼井農産の施設は何度か見ており経営体制を評価していますが、臭い問題があると思います。また、夢未市は新鮮さは評価できますが、施設が狭い、使いにくい、価格が高いです。JA任せではなく、行政も施設や販売網拡充、価格低減に取り組むべきだと思います。
- あつトピを読むと最近起こった事業が分かるので良いです。
- 個人的には「あつトピ！」をいつも興味深く拝見しているので、後2記事増やして片面全て「あつトピ！」でも良いと思います。
- 市長の発信する「厚木愛通信」は良いと思います。これからも市長がより身近に感じられるような取組を期待しています。市民は、生活に密着した市の活動や市長の方針に敏感です。是非、市民目線での活動をお願いしたいと思います。
- あゆコロちゃんGENKIポイントが今年も始まったんですね。健康維持のために取り組んでみようと思います。
- 生ごみの減量に向けた「3つのキリ」を私も実践します
- 環境月間なので、食品ロスに気を付けたいと思います。
- 環境月間なので、緑の写真がもう少し大きくても良かった。
- いろいろな月間などを市民に周知していて良いと思います。
- 環境月間に限らず、各家庭で実践している行動等を紹介してほしいです。
- 6月は環境月間だとあまり認識していなかったなので、意識していきたいと思う。
- 庭の木にアゲハチョウは見掛けますが、モンキチョウは見たことがないです。また、昔はモンシロチョウをよく見掛けましたが、いつの間にかいなくなってしまって寂しいです。
- 厚木市の人口速報を毎月チェックしています。以前表示があった外国人の数字は不要ですが、男女の人数も重要ではないです。不定期でも良いので、高齢化率や年代別分布、全国平均との比較などを掲載すると、人口問題に対する注意喚起になると思います。
- 鮎まつり情報が見たい。
- 新庁舎の関連情報が見たい。
- 地域活動について取り上げてほしい。
- ボランティア活動について知りたい。
- 健康に関することを取り上げてほしい。
- カルチャー教室を取り上げてください。
- 厚木市のことをたくさん知りたいです。
- 厚木市の産業や製品の紹介をお願いします。
- 厚木市のグルメ情報を取り上げてほしいです。
- 子育て支援をメインに今後も特集してほしい。
- マイナンバーカードの進捗状況を取り扱ってほしい。
- オレオレ詐欺のような詐欺対策の啓蒙を行ってほしい。
- 新しいお店が最近多くできているようなので、取り上げてほしい。

- 農業など厚木市が盛んになるように頑張っている人たちを載せてほしい。
- 市役所と文化会館の建て替えが決まった経過をもう一度説明してほしい。
- 農業をSDGsから捉えた記事を掲載することも良いのではないのでしょうか。
- コロナウイルス関連の記事を引き続き載せてください。農産物より大事です。
- 新聞で鮎まつりをコロナ禍前の水準に戻す記事があったので、7月1日号を楽しみにしています。
- 厚木市のボランティア団体の特集はどうでしょうか。興味はあってもどんな団体があるか、どんな活動をしているのか分からないので。
- 今後、コロナウイルスのワクチンは、インフルエンザと同じように定期的に接種しなければいけないと思うので、随時ワクチン情報を取り上げてほしい。
- 厚木市の高齢化率とその対策について、人口が二十数万人から何十年も増減がないことについて、厚木市の交通利便性について、森の里地区の空き家増加について、厚木市の財政調整基金の使い方について取り上げてほしい。
- 1日発行のものには、その月に行われるイベントを一覧で載せてほしいです。最後のページは、その月に行われるイベントを載せるなど、文化会館の予定みたいに確認できれば近くで行われるものに足を運ぼうと思えます。楽しいイベントがありましただけでなく、楽しいイベントがありますというページがほしいです。
- 高齢者と若者が交流できる場の紹介をしてほしい。例えば、多くの経験や体験をしている高齢者が次の世代を担う若者と交流し、多くの知恵を伝えることが市の活性化につながると思います。また、厚木市はどのような疾患が多く、その対策として栄養を考えた食事、適度な運動、適度な交流等の効果的なことも紹介してほしいです。
- 夏の遊びで嫌な思いをする前に、ヤマビルを無くす対策はないですかね。
- 文化会館が改修による休館で不便はありますが、改修後の新しい文化会館に期待しています。
- 文化会館のイベント情報をいつも楽しみにしています。建て替えの期間が長く感じますが、新しくできる文化会館楽しみにしています。
- 不妊治療やがん治療、認知症、歯科など、いろいろな病院の医療施設の紹介などを取り上げてほしい。また、健康体操やスポーツイベントを開催してほしい。
- コロナ禍が明け、子どもたちのイベントが戻ってきたことがうれしいです。多くの著名人が参加することによって子どもたちの夢も心も膨らむと感じました。厚木市の企画力にも感謝です。

広報あつぎ1400号(6月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 視聴した「市広報番組」について、感想、意見をお聴かせください。

あつぎ愛テレビ6月第1回(6月1日から6月15日まで)

- 牛乳を身近に感じた。
- 厚木の農産物を応援します。
- 酪農の大変さがよく分かりました。
- 酪農家の苦労を理解しました。頑張ってもらいたい。
- 厚木市でも牛乳を作っているところがあると初めて知りました。
- 牛乳はおいしいので、市民の皆さんもたくさん飲んでほしいです。
- 市内で酪農をされている方の真摯な取組に感動しました。ありがとうございます。
- 牛の餌よせの仕事を初めて見ました。こんなにたくさんの牛の世話を家族でしているのはすごいです。
- 飯原ミルクファームの仕事を見ました。一年中休みのない仕事で、動物に対する愛情を感じられました。
- 小・中学生の社会見学などで酪農を見学して手伝い、乳牛について知ることができれば良いと思いました。
- 6月の酪農体験が良かったです。リポーターの方もよく頑張ったと思います。牛もとてもかわいかったです。
- 厚木に8軒も酪農家があることを初めて知りました。どうしてもとん漬など豚のイメージがあるので、牛乳の牛のイメージも付くようになれば良いと思います。
- 養豚もやはり体力が必要で、餌を上げる作業一つとっても高齢化してきているので、厳しさを感じました。そんな中、飯原さんが人と同じで気の弱い牛もいるので、気をつけて餌をあげているという話、すてきなと思いました。
- 6月が国連が定めた「牛乳月間」だということを知りました。「広報あつぎ」にもありましたが、市内に複数の酪農家があることも知りました。自身も酪農により生産された牛乳を知らず知らずのうちに飲んでいることを再確認できました。
- 牛がストレスのない生活ができるように力を入れている酪農家を応援していきたいです。また、医療費無料が18歳まではとても助かります。
- 牛乳月間と環境月間を初めて知りました。農協やスーパーで地場産の野菜がたくさん出ているので、いろいろな野菜が厚木市にあるのだと感じています。農業の方たちに感謝しています。
- 市民朝市で父の日に「酪農家応援キャンペーン」が実施されるようなので必ずお伺いします。何があるのかも楽しみです。また、間伐材を使って机や椅子を学校に導入することはすばらしいと思います。改めて木の良さを再認識しました。
- 6月が牛乳月間で、6月1日が牛乳の日となっていることを初めて知りました。健康に良い牛乳を毎日飲むようにしているので、毎日休むことのない酪農家さんに感謝しています。また、間伐材を使った机、椅子等への活用は、すばしいと思います。
- 6月の牛乳月間をこれからは忘れないようにします。また、医療費拡充はすばらしく、厚木市は動きが早いと感じています。さらなるIT化に躍進すると感じました。
- 枯れ木を積み木に利用しているのが良いと思った。
- 間伐材の利用は、とても良い取組だと思いました。
- 環境月間ということで、食品ロスなどを極力しないよう努力していきたい。

- 間伐材の有効活用はすごく良いことだと思います。今後もどんどん活用してほしいと思います。
- 厚木にはまだ山や川などの自然が豊富に残っているので、いつまでも今の状態が続くよう身近なところから環境に配慮したいと思いました。
- 6月は環境月間ということで間伐材の有効活用を紹介いただいたが、活動自体は通念とし、毎年6月を計画の月にしたらより効果的かと思いました。
- 間伐材を使った机と椅子を学校に導入することにより、間伐材のことを勉強する機会も生まれてより理解が進み、担い手の増加にもつながれば良いと思います。
- 森林の木材活用で机などが紹介されていたが、本格的なマーケティングにはなっていないと思う。デザイナーによるカッコいい商品を開発してブランディング展開してはどうか。
- 間伐材を利用して厚木市の自然環境を勉強できることは素晴らしいです。また、医療費助成が10月から18歳まで無料になることは子育て家庭としてうれしいです。
- 今後も手厚い子育て支援に期待しています。
- 医療費無料に関する手続きが分かりやすく説明されていて好感が持てた。
- 子どもの医療費が18歳までになることを知ることができて良かった。
- 医療費が10月から18歳まで無料になり、厚木市で子育てする人が増えると良いと思った。

あつぎ愛テレビ5月第2回(5月15日から5月31日まで)

- とん漬が美味しそうで飯テロでした。
- 厚木のとん漬はおいしくてよく食べています。100年フードに認定されて良かったと思います。
- 厚木のとん漬が、文化庁の100年フードに認定されたことに喜びを感じます。とん漬を焼く香りが映像から伝わってきます。
- AYUCOカードはとても助かっています。